

平成 2 3 年 度

「事業系一般廃棄物の排出状況に関する調査」  
報 告 書

# 目 次

## 「事業系一般廃棄物の排出状況について」のアンケート調査結果

アンケート調査の目的、調査の概要、調査結果の概要	P 1
問1.業種について	P 2
問2.事業所の所在について	P 3
問3.従業員数について	P 4
問4.廃棄物の種類について	P 5
問5.一般廃棄物の種類と量について	P 6
問6.一般廃棄物の処理方法について	P 11
問7.廃棄物処理に係る費用について	P 12
問8.リサイクルの考え方について	P 14
問9.ごみの減量化及びリサイクルの取り組みについて	P 15
問10.リサイクルの問題点について	P 16
問11.ごみ処理についての意見・提言	P 17

## アンケート調査の目的

この調査は、市内全域の事業所から無作為に抽出した300事業所を対象に行われ、事業所から排出されるごみの種類、量などを把握するとともに、リサイクルに対する意識を調査し、年々増加傾向にある事業系ごみの減量や4R推進の施策の検討及び、一般廃棄物処理基本計画の策定についての材料とするため実施した。

## 調査の概要

アンケート調査対象地区	石狩市内全域 300事業所
調査期間	平成23年7月1日～平成23年7月20日
調査方法	郵送による調査(無記名)
回答数	133事業所
回答率	44%

## 調査結果の概要

事業所から排出されているごみの種類、量について

- ・事業所から排出されているごみの種類は燃やせるごみが多く、多量である。  
だが、リサイクルされている量は少なく、その約8割がごみとして処分されている

リサイクルについて

- ・リサイクルについての考え方で、「すべてごみとして廃棄すべき」という回答が0だった点からも、リサイクルに対しての関心があることが読み取れる。

SA・MAの意味

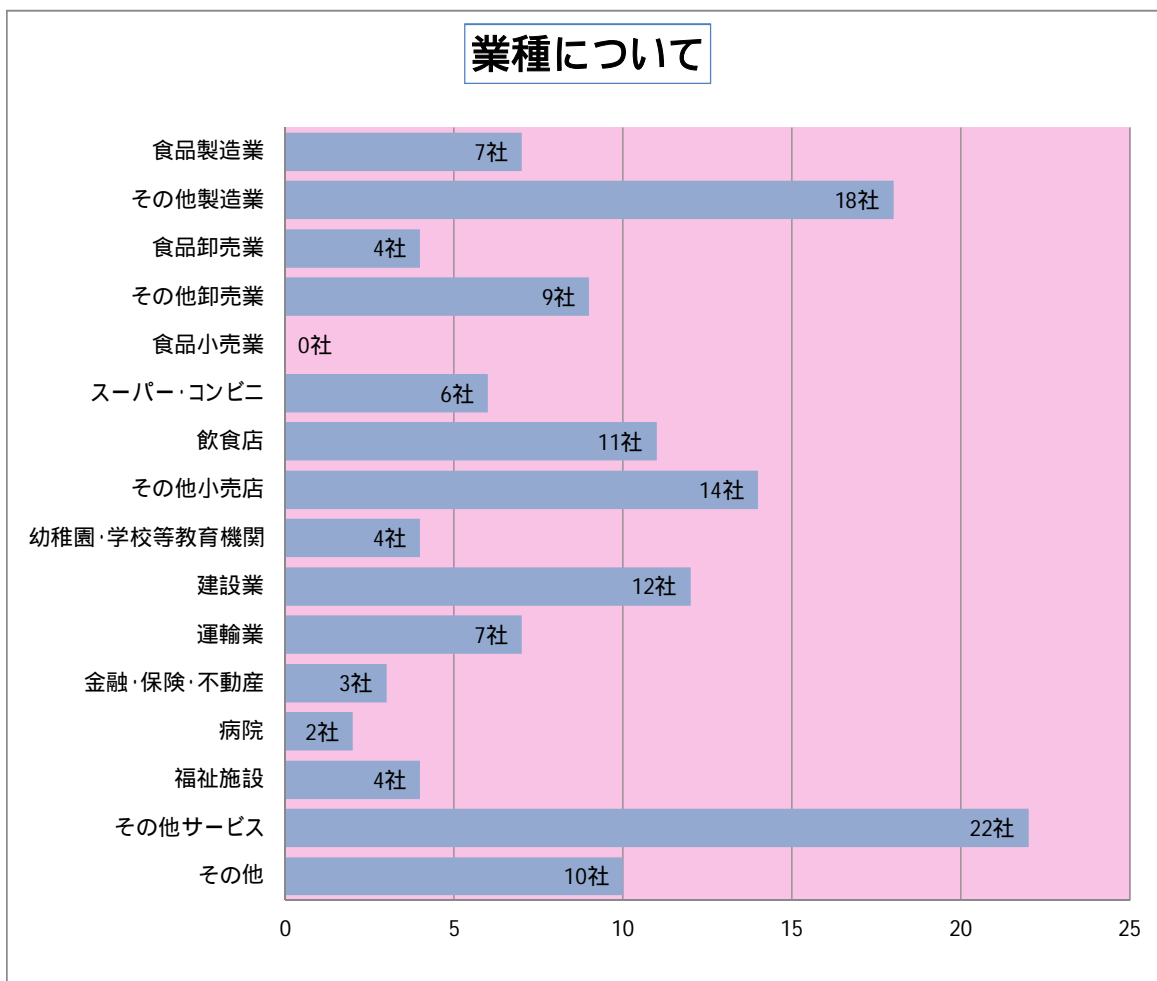
SA(シングルアンサー)……単一回答の設問

MA(マルチアンサー)……複数回答の設問

1. 貴事業所の概要についてお聞きします。

問1. 業種について該当する項目を☑して下さい。(SA)

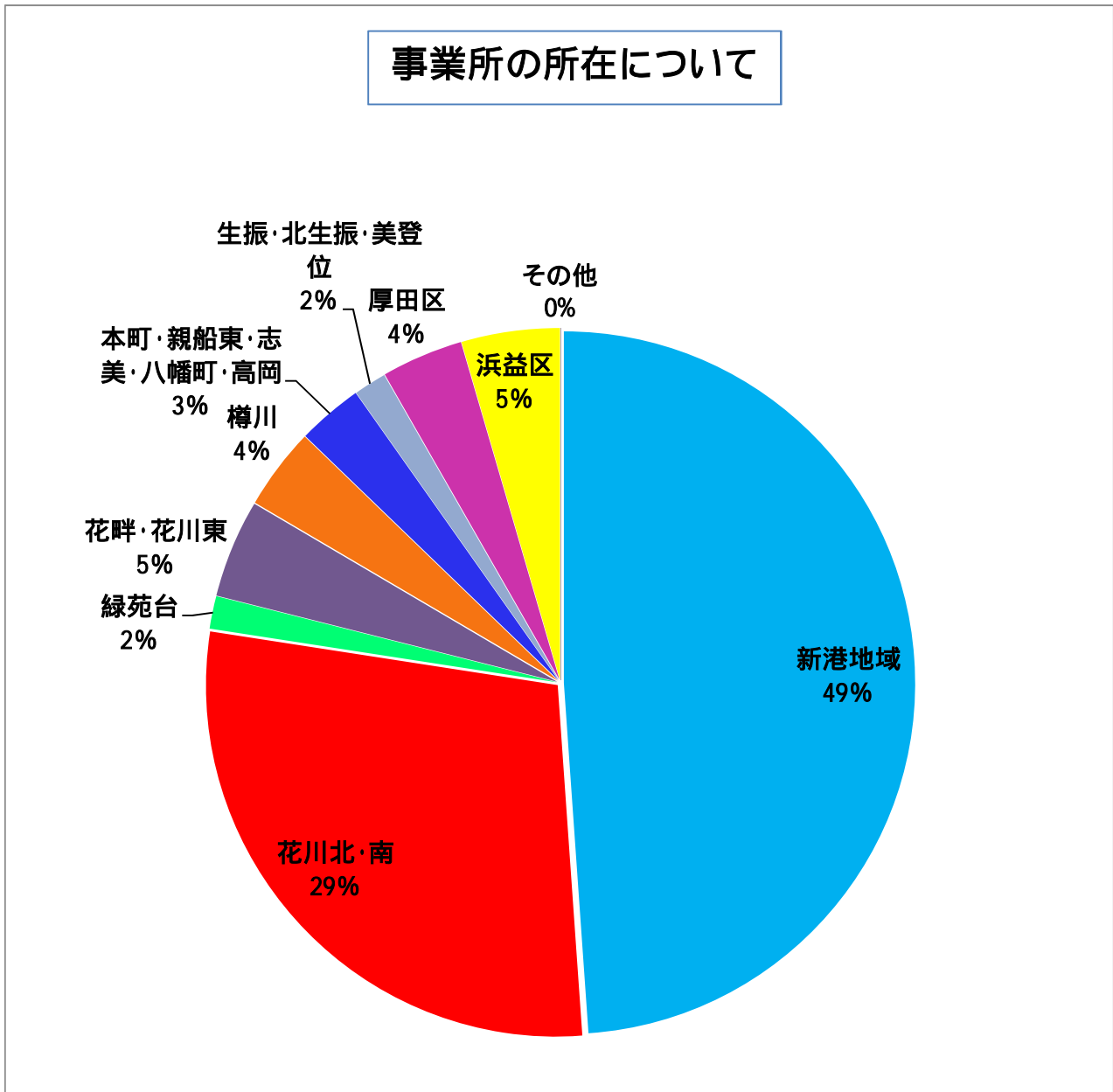
食品製造業	7社(5%)
その他製造業	18社(14%)
食品卸売業	4社(3%)
その他卸売業	9社(7%)
食品小売店	0社(0%)
スーパー・コンビニ	6社(5%)
飲食店	11社(8%)
その他小売店	14社(11%)
幼稚園・学校等教育機関	4社(3%)
建設業	12社(9%)
運輸業	7社(5%)
金融・保険・不動産	3社(2%)
病院	2社(2%)
福祉施設	4社(3%)
その他サービス業	22社(17%)
その他	10社(8%)



その他の内訳は「リサイクル業、水産業、石油製品取扱業、農業協同組合、宗教法人、倉庫業」となっている。

問2. 事業所の所在地はどこですか。該当する項目を☑して下さい。(SA)

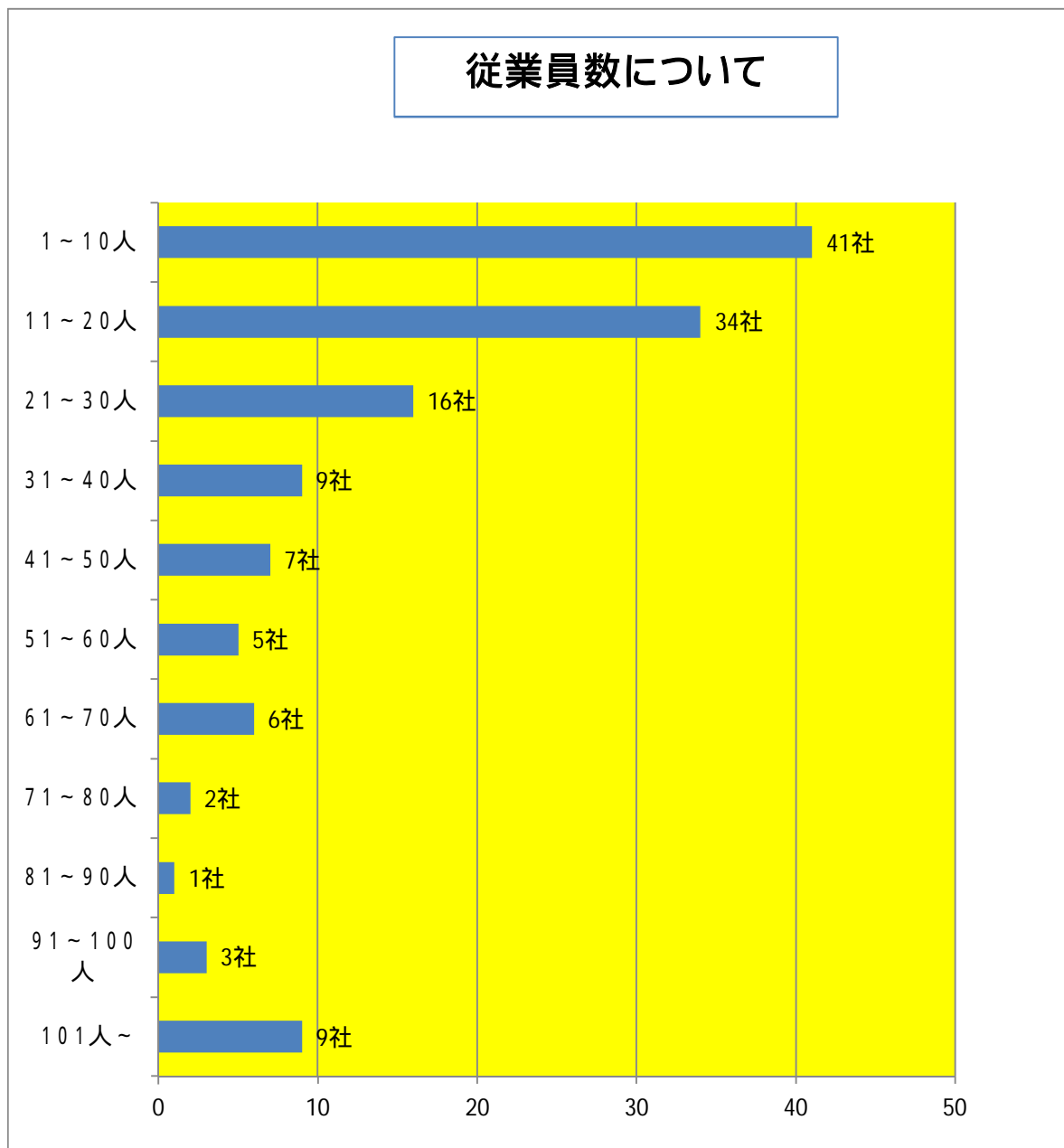
- 1、新港地域 65社(49%) 2、花川北・南 38社(29%) 3、緑苑台 2社(2%) 4、花畔・花川東 6社(5%)  
 5、樽川 5社(4%) 6、本町・親船東・八幡町・高岡 4社(3%) 7、生振・北生振 2社(2%)  
 8、厚田区 5社(4%) 9、浜益区 6社(5%) その他 0社(0%)



回答があった事業所の所在地は「新港地域」が全体の約半数(49%)を占めている。これに「花川北・南」38社(29%)を加えると、全体の約8割(78%)を占める結果になる。

問3. 従業員は何人ですか。(SA)

1～10人 41社(31%) 11～20人 34社(26%) 21～30人 16社(12%) 31～40人 9社(7%)  
41～50人 7社(5%) 51～60人 5社(4%) 61～70人 6社(5%) 71～80人 2社(2%)  
81～90人 1社(1%) 91～100人 3社(2%) 101人～ 9社(7%)

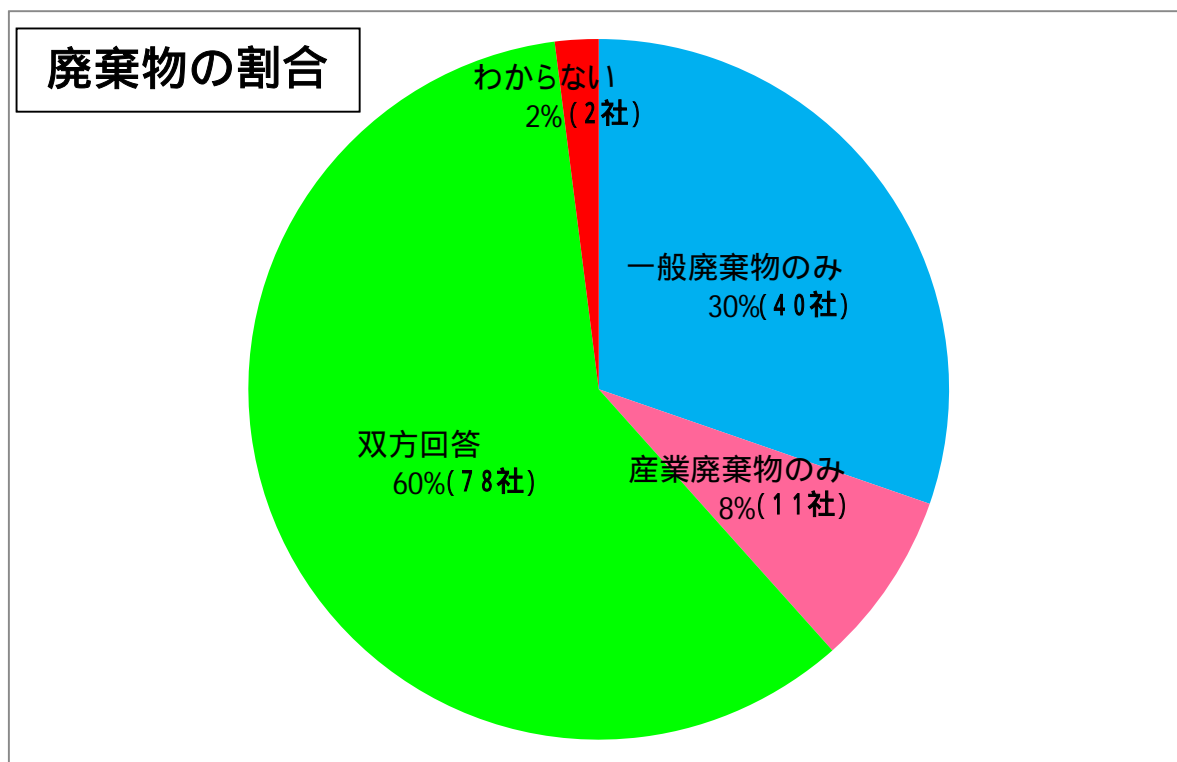


従業員数「1～10人」が41社(31%)と最も高く、次いで「11～20人」が34社(26%)となっている。

2. 貴事業所から排出される廃棄物についてお聞きします。

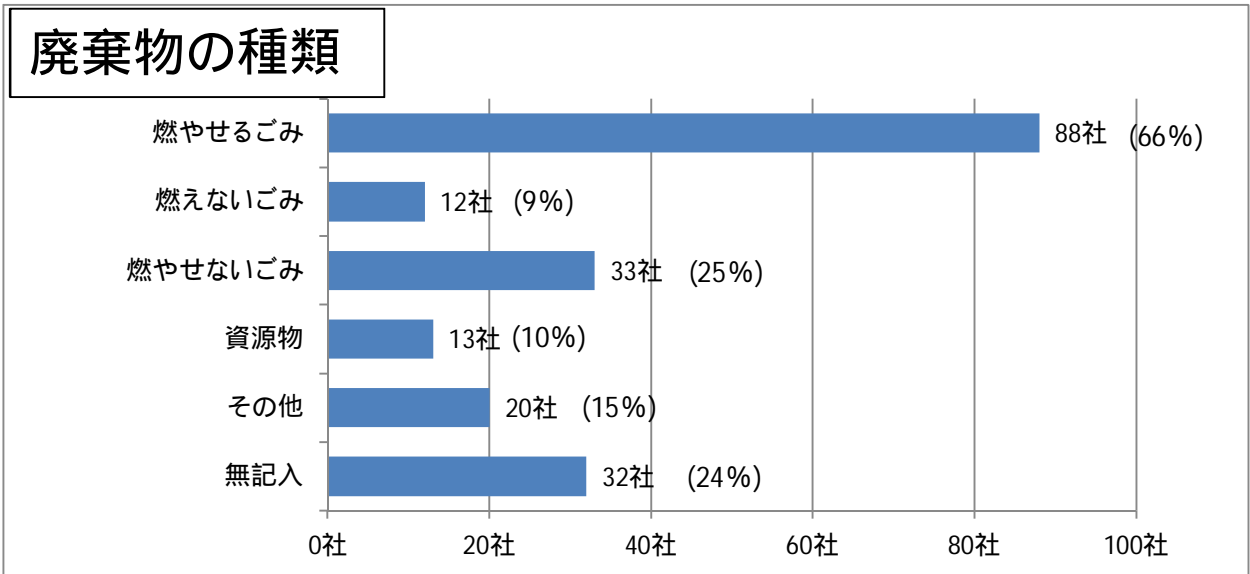
問4. 廃棄物は、産業廃棄物と一般廃棄物に分かれますが、該当する項目を☑して下さい。  
両方該当する場合は双方にチェックをお願いします。(MA)

一般廃棄物	118社(89%)	} うち双方回答は78社(59%)
産業廃棄物	89社(67%)	
わからない	2社(2%)	



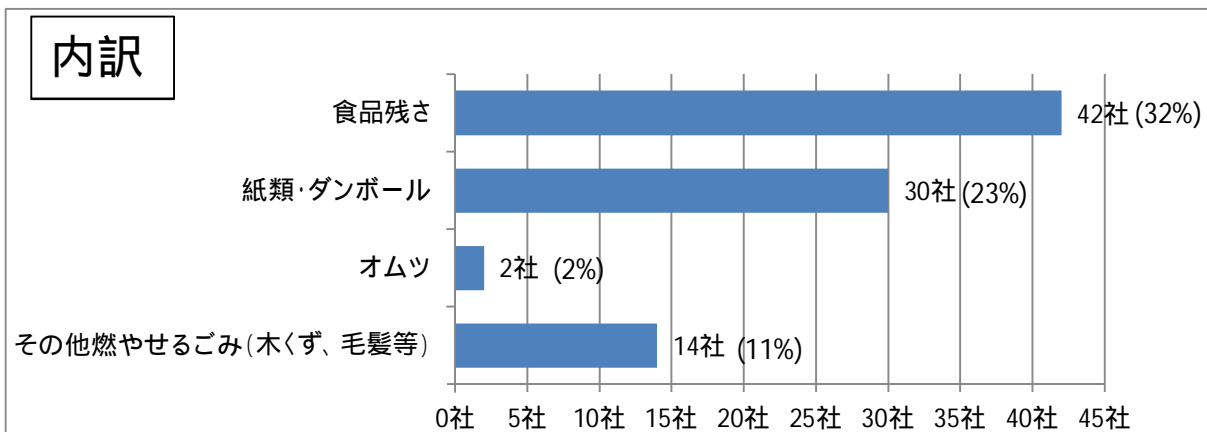
「双方回答」が78社(60%)と最も多く、次いで「一般廃棄物のみ」が40社(30%)、「産業廃棄物のみ」が11社(8%)となっている。  
中には一般廃棄物と産業廃棄物の区別をはっきりと理解していない事業所も見受けられた。

問5. 貴事業所から排出されている主な一般廃棄物の種類と量についてお聞きします。  
 また、リサイクルしている場合はその方法をお答えください。(MA)



133社中「燃やせるごみ」が88社(66%)と最も多く、次いで「燃やせないごみ」の33社(25%)となっている。

### 燃やせるごみ・・・88社(66%)回答

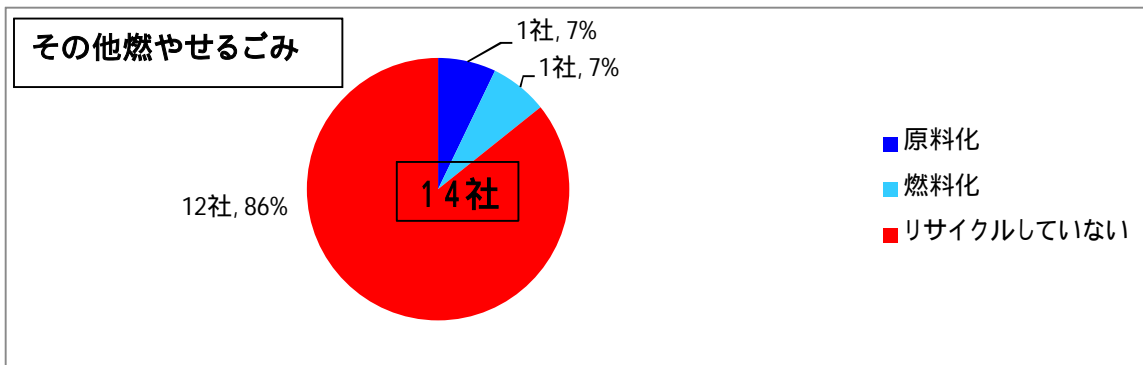
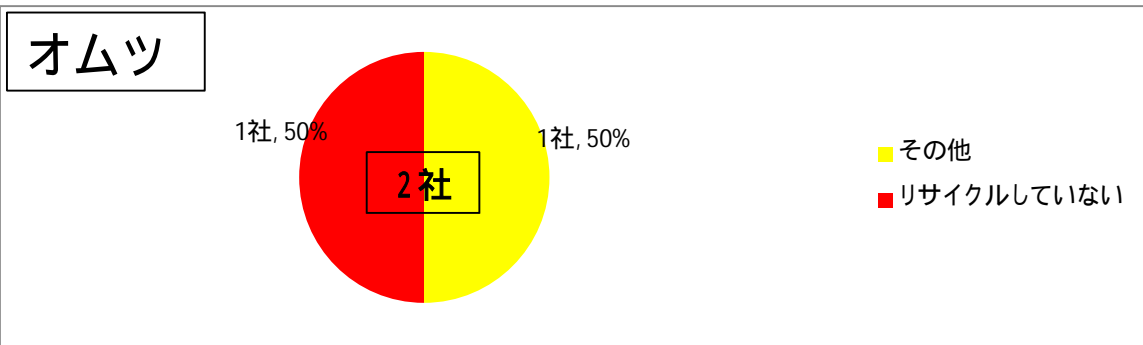
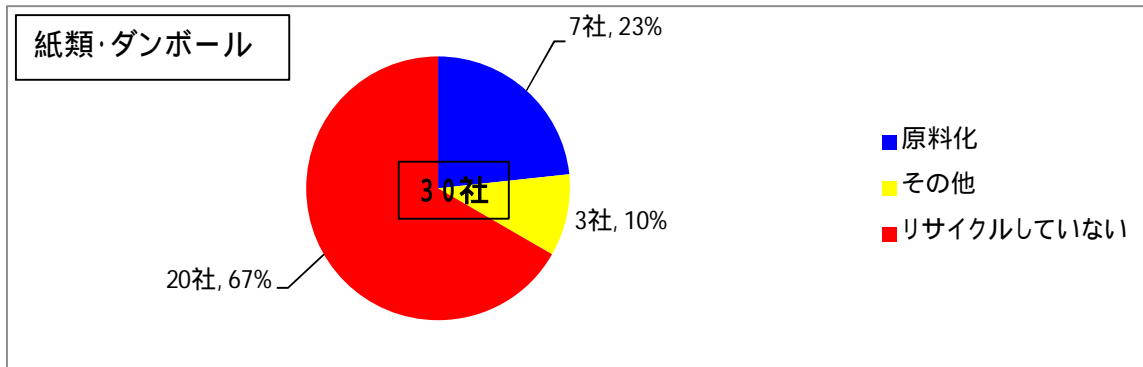
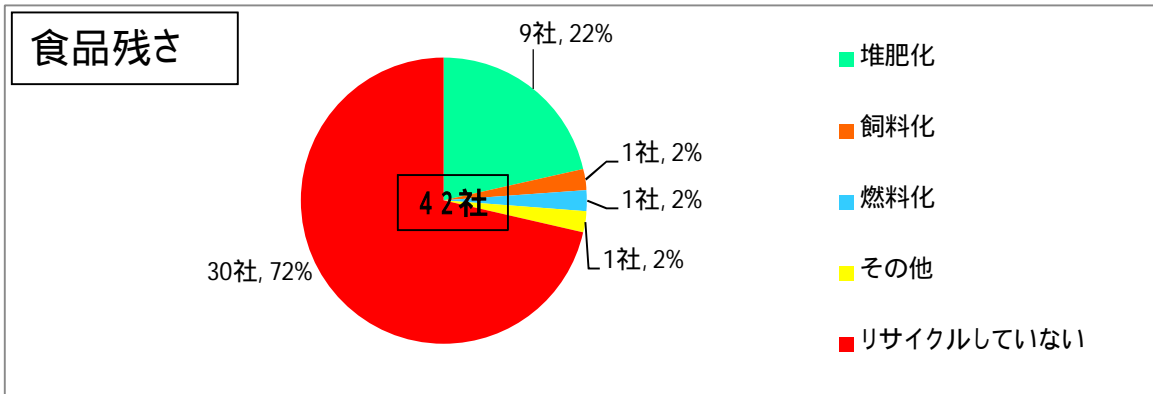


### ・廃棄物の量

		事業所数	ブリバード袋	t	kg	m <sup>3</sup>
		食品残さ	月平均	29社	1568袋 (16社)	10t (4社)
	年間	7社	0袋	3337t (6社)	0kg	1m <sup>3</sup> (1社)
	不明	6社				
紙類・ダンボール	月平均	21社	132袋 (13社)	15.5t (2社)	1265kg (5社)	15.5m <sup>3</sup> (1社)
	年間	5社	1000袋 (1社)	2t (1社)	699,329kg (3社)	5m <sup>3</sup> (1社)
	不明	4社				
オムツ	月平均	2社	50袋 (1社)	0t	2480kg (1社)	0m <sup>3</sup>
	年間	0社	0袋	0t	0kg	0m <sup>3</sup>
	不明	0社				
その他燃やせるごみ(木くず、毛髪等)	月平均	11社	294袋 (8社)	0t	48kg (1社)	103.4m <sup>3</sup> (2社)
	年間	0社	0袋	0t	0kg	0m <sup>3</sup>
	不明	3社				



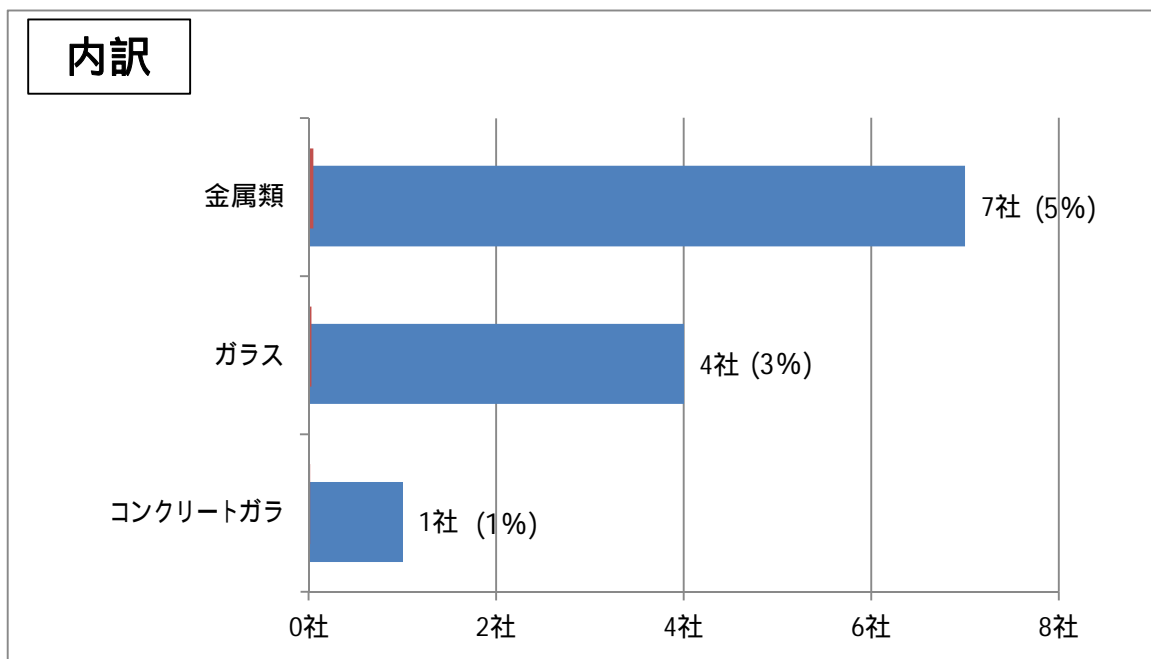
## ・リサイクル方法



燃やせるごみの中で133社中「食品残さ」が42社(32%)と最も多く、次いで「紙類・ダンボール」が30社(23%)となっている

リサイクル方法で最も多いのが、食品残さでは「堆肥化」9社(22%)、紙類・ダンボールでは「原料化」が7社(23%)、オムツでは「その他」が1社(50%)、その他燃やせるごみでは「原料化」「燃料化」とともに1社(7%)となっている

## 燃えないごみ・・・12社(9%)回答



## ・廃棄物の量

		事業所	プリバード袋	t	kg	m <sup>3</sup>
金属類	月平均	4社	14袋 (3社)	0t	400kg (1社)	0m <sup>3</sup>
	年間	3社	8袋 (2社)	2t (1社)	0kg	0m <sup>3</sup>
	不明	0社				
ガラス	月平均	3社	2袋 (1社)	0t	80kg (1社)	2.2m <sup>3</sup> (1社)
	年間	0社	0袋	0t	0kg	0m <sup>3</sup>
	不明	1社				
コンクリートガラ	月平均	0社	0袋	0t	0kg	0m <sup>3</sup>
	年間	1社	0袋	5696t (1社)	0kg	0m <sup>3</sup>
	不明	0社				

## ・リサイクル方法・・・回答なし

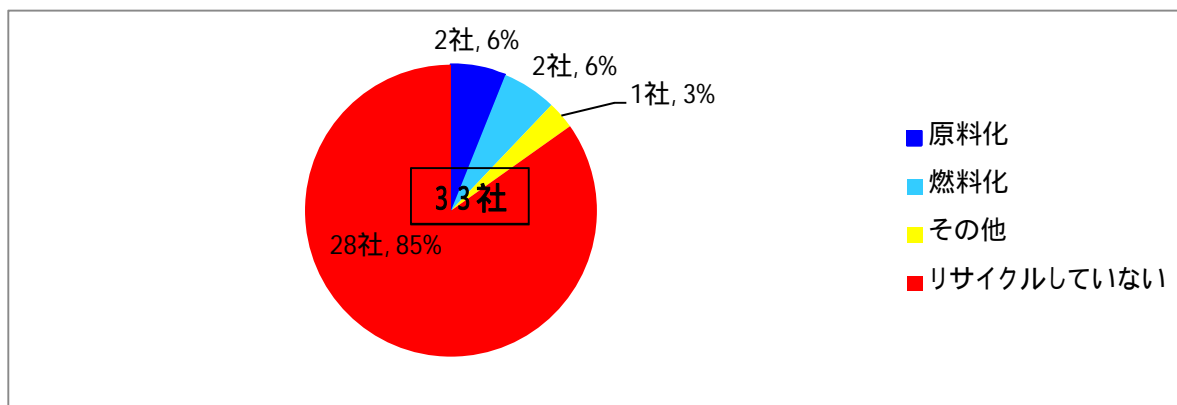
燃えないごみを排出している事業所は12社(9%)と少なく、リサイクルをしているという回答もなかった。

## 燃やせないごみ(ビニール、プラスチック)・・・33社(25%)回答

### ・廃棄物の量

		事業所数	プリペード袋	t	kg	m <sup>3</sup>
ビニール、 プラスチック	月平均	23社	70袋 (12社)	5t (4社)	1027kg (5社)	28,6m <sup>3</sup> (2社)
	年間	4社	61袋 (3社)	0t	0kg	8m <sup>3</sup> (1社)
	不明	6社				

### ・リサイクル方法



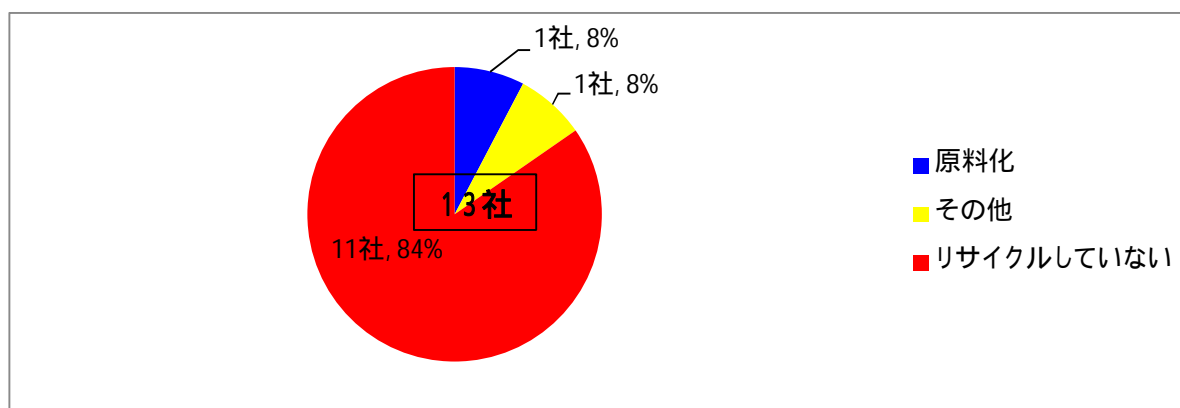
リサイクル方法は「原料化」2社(6%)、「燃料化」2社(5%)である。  
「リサイクルしていない」と回答したのは28社(84%)となっている。

## 資源物(ビン、缶、ペットボトル)・・・13社(10%)回答

### ・廃棄物の量

		事業所数	プリペード袋	t	kg	m <sup>3</sup>
ビン、缶、 ペットボトル	月平均	10社	43袋 (9社)	0t	0kg	1.1m <sup>3</sup> (1社)
	年間	0社	0袋	0t	0kg	0m <sup>3</sup>
	不明	3社				

### ・リサイクル方法



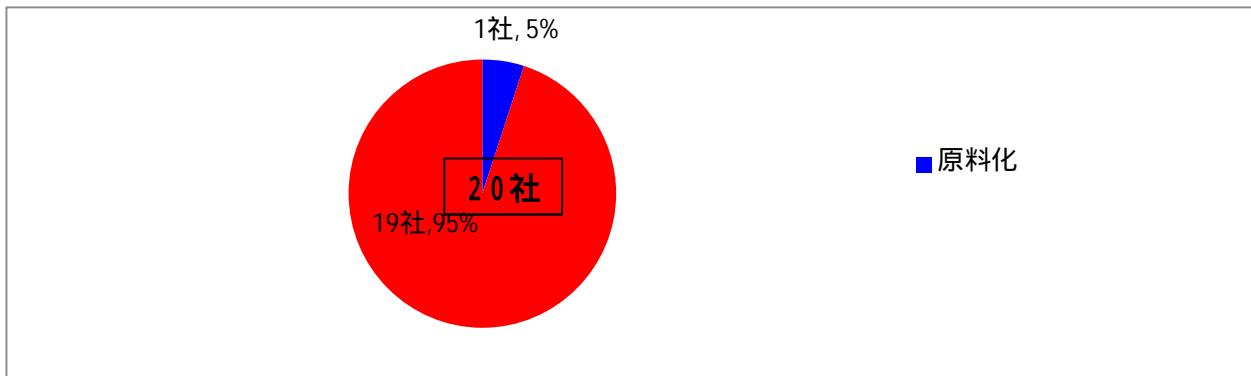
リサイクル方法では「原料化」と「その他」がともに1社(7%)となっており、  
「リサイクルしていない」が11社(84%)であった。

## その他・・・20社(15%)回答

### ・廃棄物の量

		事業所数	プリバード袋	t	kg	m <sup>3</sup>
その他	月平均	11社	59袋 (4社)	0t	3000kg (6社)	6.8m <sup>3</sup> (1社)
	年間	8社	1280袋 (3社)	14t (1社)	13318kg (2社)	172m <sup>3</sup> (2社)
	不明	1社				

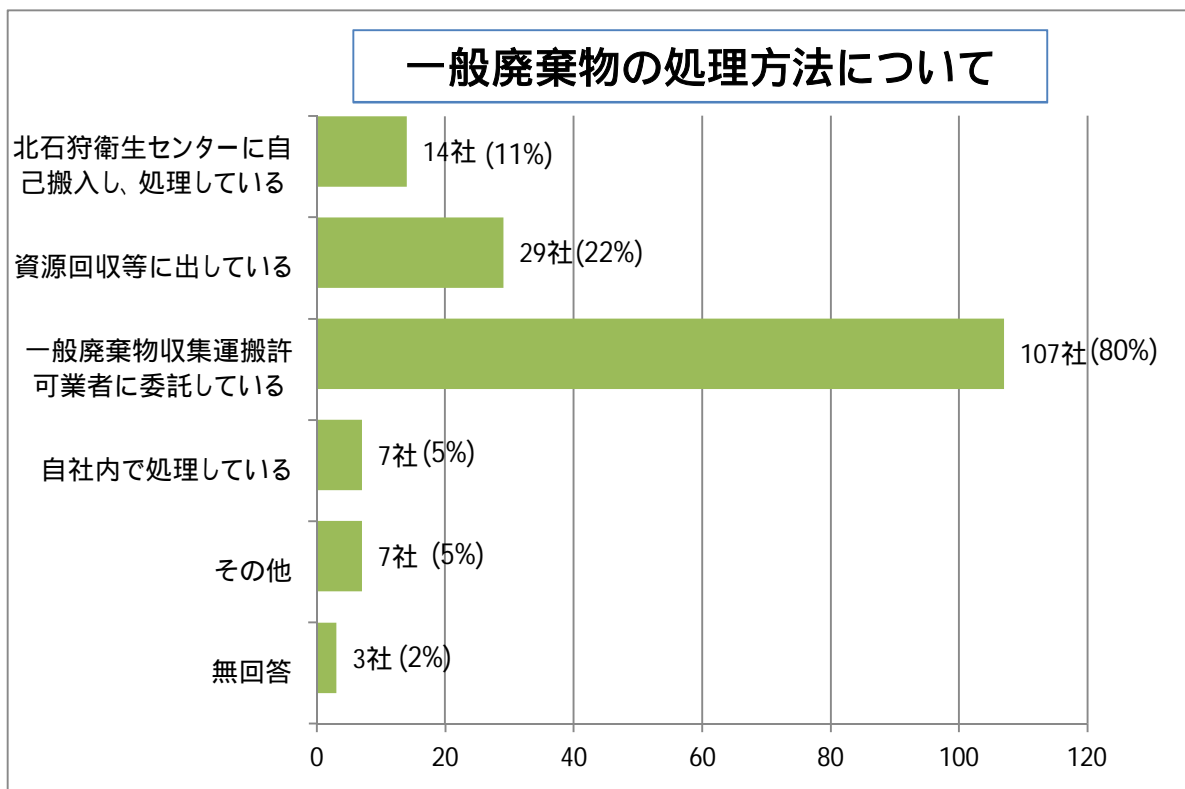
### ・リサイクル方法



リサイクル方法は「原料化」が1社(5%)、「リサイクルしていない」が19社(95%)となっている  
 廃棄物の種類は「電材残さ」「廃インキ」「医療廃棄物」「廃油」「タイヤ」等であった。

問6. 貴事業所から排出される一般廃棄物の処理方法についてお聞きします。  
 該当する項目を☑して下さい。(MA)

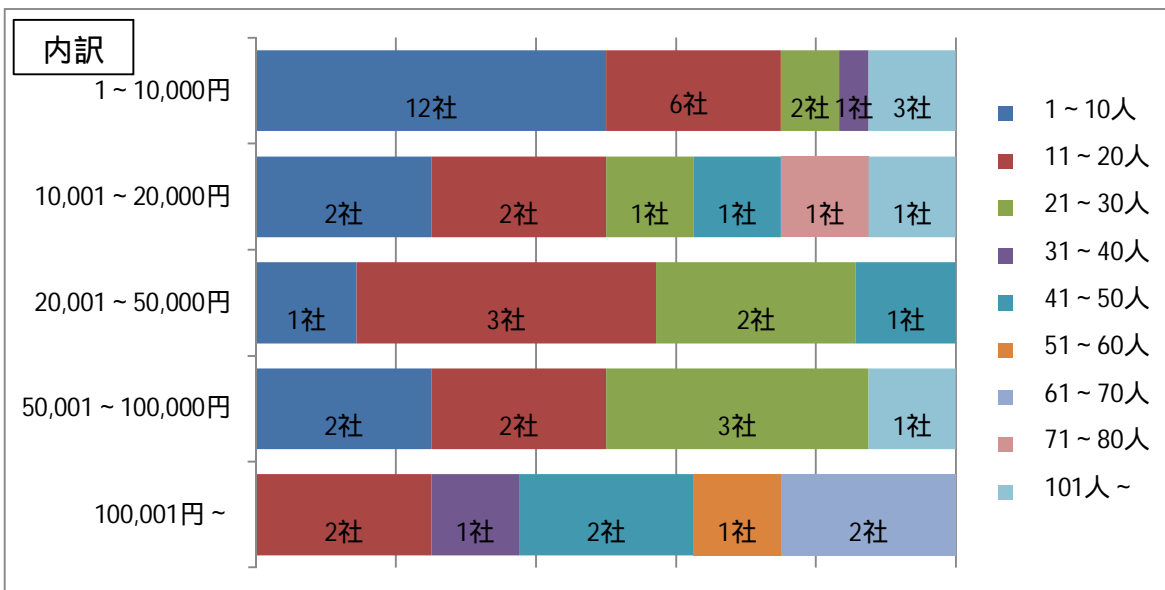
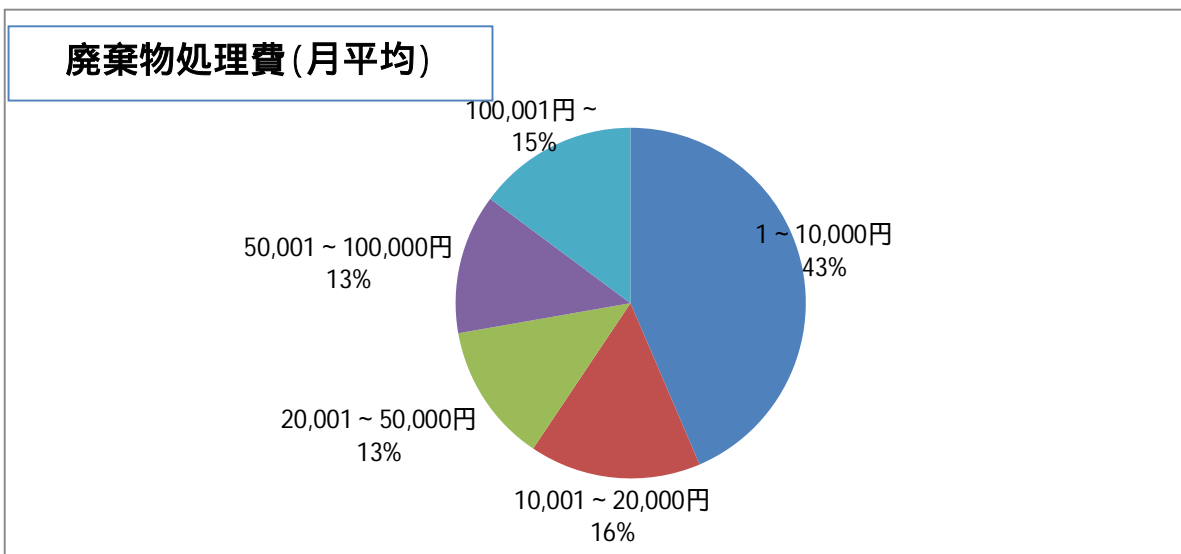
北石狩衛生センターに自己搬入し、処理している	14社(11%)
資源回収等に出している	29社(22%)
一般廃棄物収集運搬許可業者に委託している	107社(80%)
自社内で処理している	7社(5%)
その他	7社(5%)
無回答	3社(2%)



一般廃棄物の処理方法については「一般廃棄物収集運搬許可業者に委託している」が107社(80%)と最も高く、次いで「資源回収に出している」が29社(22%)となっている。

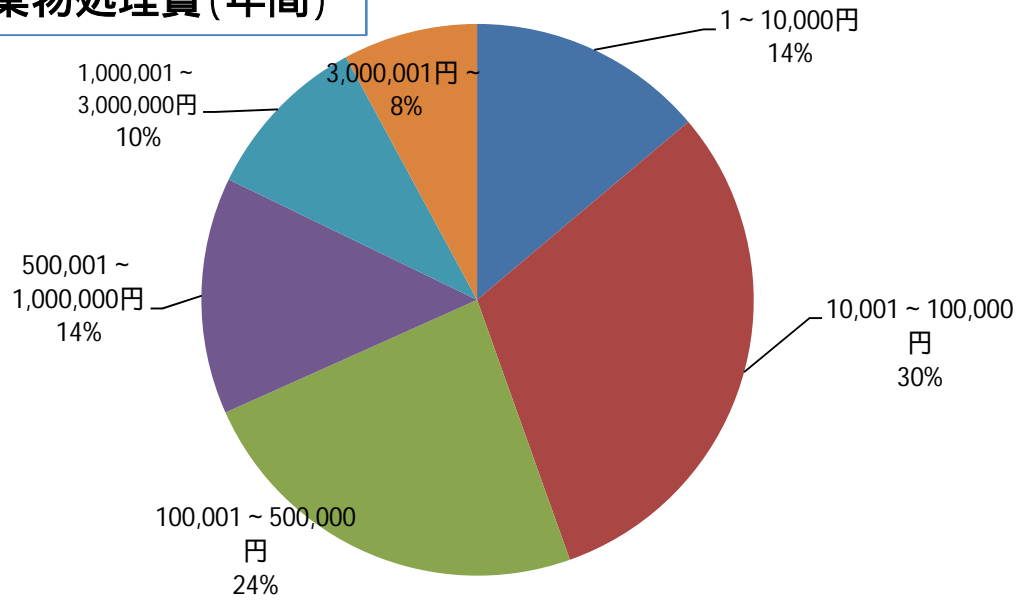
問7. 貴事業所の廃棄物処理(リサイクルを含む。)に係る費用についてお聞きます。  
 該当する項目を☑して下さい。(SA)

月平均		年間	
1～10,000円	24社(43%)	1～10,000円	7社(14%)
10,001～20,000円	9社(16%)	10,001～100,000円	16社(31%)
20,001～50,000円	7社(13%)	100,001～500,000円	12社(24%)
50,001～100,000円	7社(13%)	500,001～1,000,000円	7社(14%)
100,001円～	8社(15%)	1,000,001～3,000,000円	5社(10%)
		3,000,001円～	4社(8%)
不明	27社		

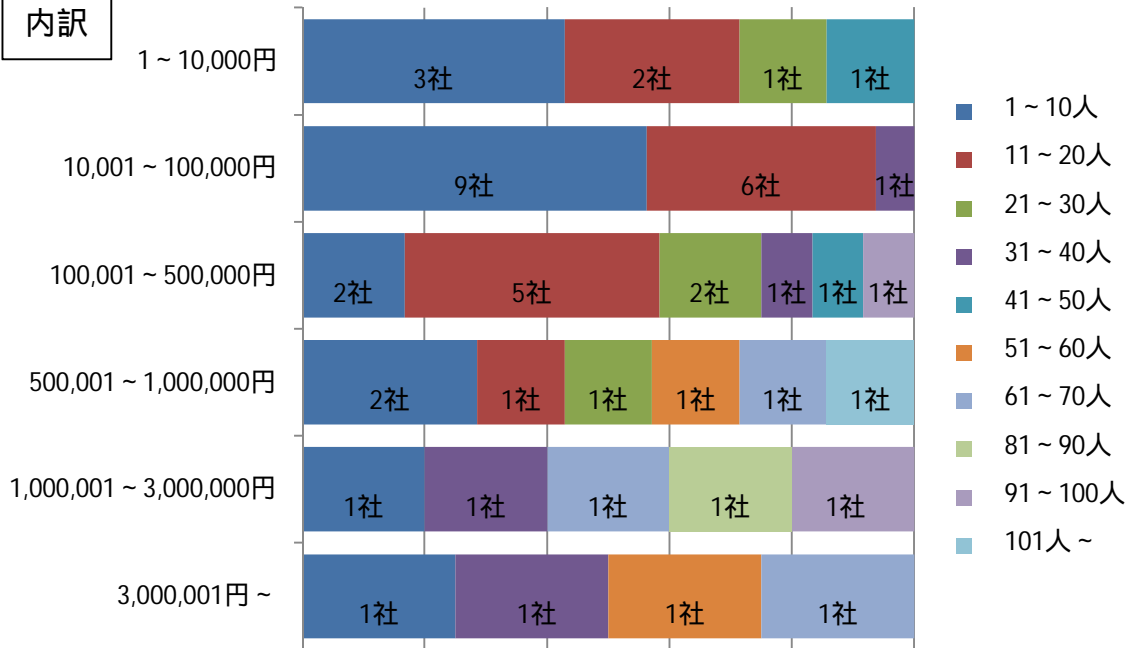


廃棄物処理費用が月平均「1～10,000円」以内の事業所が24社(43%)と最も高い。  
 処理費が1万円以下の事業所のうち12社(50%)が「1～10人」の事業所である  
 事業所の従業員数と処理費用は比例するとは限らないようだ。

## 廃棄物処理費(年間)



## 内訳



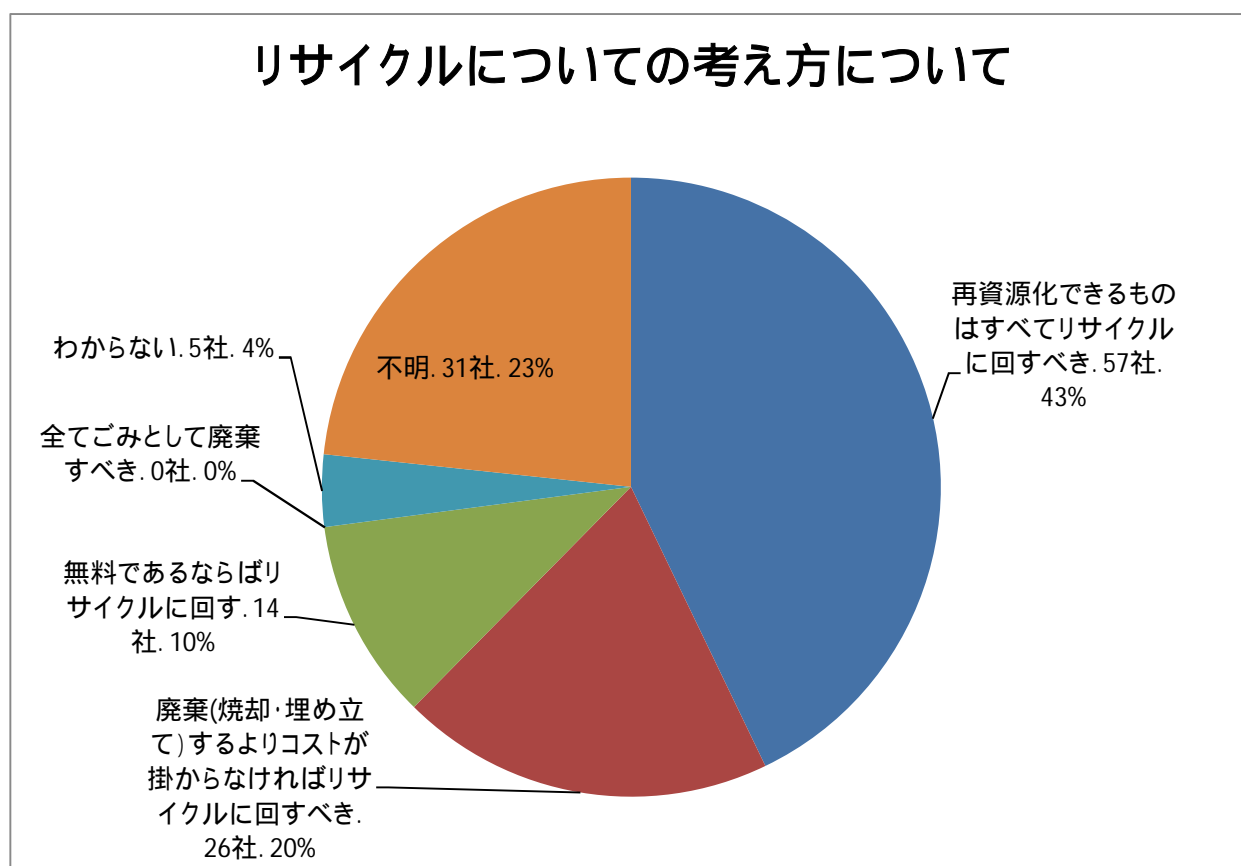
こちら月平均と同様に、年間を通して処理費が100,000円以内が約半数を占めている。「10,001 ~ 100,000円」で最も多いのが、従業員数が1 ~ 10人の9社である。事業所の従業員数と処理費用は比例するとは限らないようだ。

リサイクルについての考え方についてお聞きします。

問8. 貴事業所におけるリサイクルについての考え方についてお聞きします。

該当する項目を☑して下さい。(SA)

再資源化できるものはすべてリサイクルに回すべき	57社(43%)
廃棄(焼却・埋め立て)するよりコストが掛からなければリサイクルに回すべき	26社(20%)
無料であるならばリサイクルに回す	14社(10%)
全てごみとして廃棄すべき	0社(0%)
わからない	5社(4%)
不明	31社(23%)



リサイクルに対する意識を表す回答が半数以上みられる。

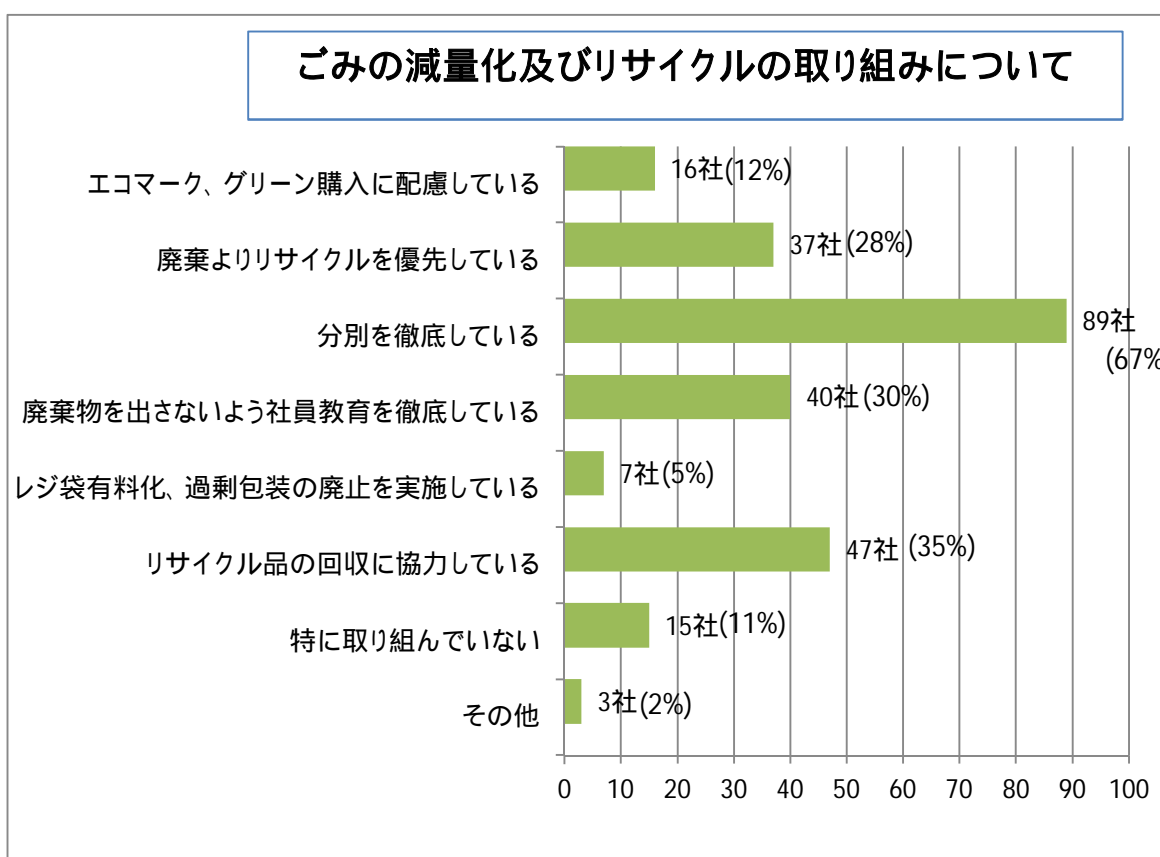
「廃棄(焼却・埋め立て)するよりコストが掛からなければリサイクルに回すべき」が26社(20%)、「無料であるならばリサイクルに回す」が14社(10%)と3割がコストを意識した回答をしている。



問9. 貴事業所において、ごみの減量化及びリサイクルについて取り組んでいることをお答え下さい。

(MA)

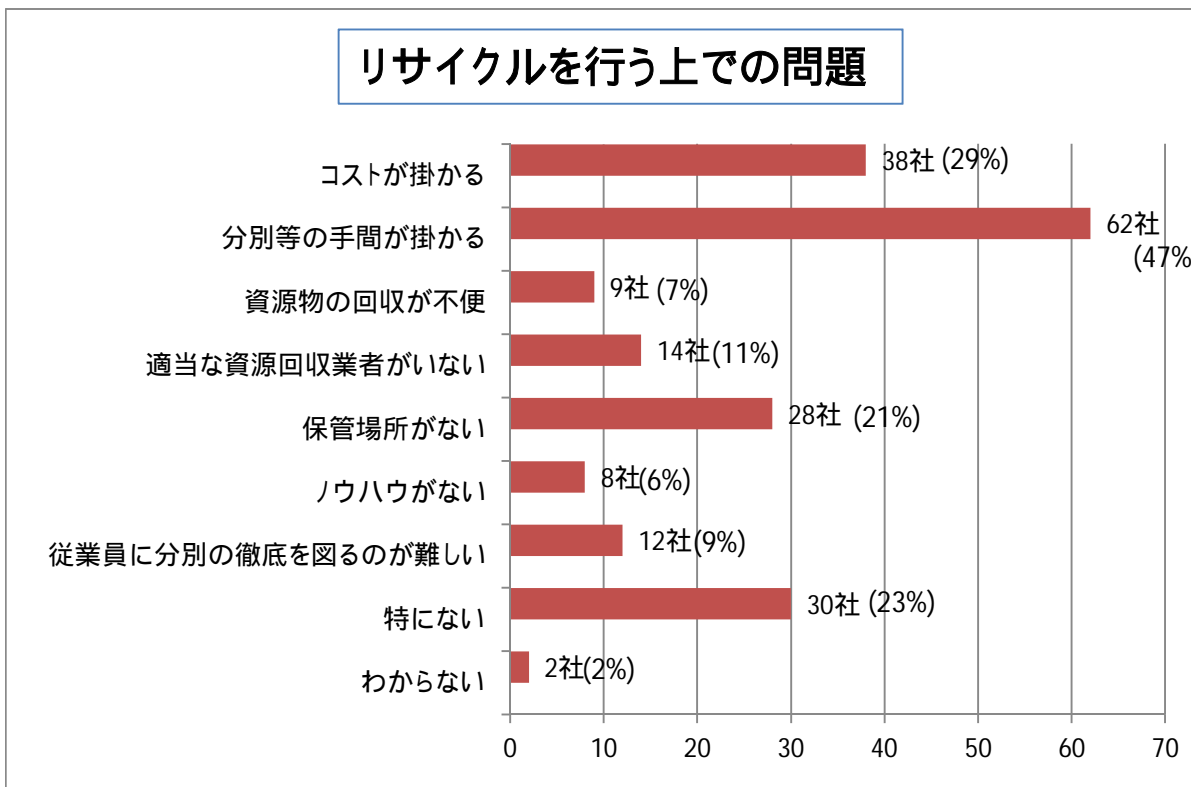
エコマーク、グリーン購入に配慮している	16社(12%)
廃棄よりリサイクルを優先している	37社(28%)
分別を徹底している	89社(67%)
廃棄物を出さないよう社員教育を徹底している	40社(30%)
レジ袋有料化、過剰包装の廃止を実施している	7社(5%)
リサイクル品の回収に協力している	47社(35%)
特に取り組んでいない	15社(11%)
その他	3社(2%)



リデュースに繋がる「廃棄物を出さないよう社員教育を徹底している」が40社(30%)、「レジ袋有料化、過剰包装の廃止を実施している」が7社(5%)となっている。リサイクルに繋がる「廃棄よりリサイクルを優先している」が37社(28%)、「分別を徹底している」が89社(67%)、「リサイクル品の回収に協力している」が47社(35%)となっている。「特に取り組んでいない」と回答した事業所が15社(11%)あることも、今後の課題の1つである。

問10. 貴事業所において、リサイクルを行う上での問題点についてお答え下さい。(MA)

コストが掛かる	38社(29%)
分別等の手間が掛かる	62社(47%)
資源物の回収が不便	9社(7%)
適当な資源回収業者がない	14社(11%)
保管場所がない	28社(21%)
ノウハウがない	8社(6%)
従業員に分別の徹底を図るのが難しい	12社(9%)
特にない	30社(23%)
わからない	2社(2%)



問9で67%が「分別を徹底している」と回答している反面、「分別等の手間が掛かる」が62社(47%)と半数近く回答している。  
 「コストが掛かる」の29%の回答と、問8でのコストを意識した回答が30%と近似している。

問11. ごみ処理について、ご意見ご提言など、思うところを自由にお書きください。

札幌市では蛍光管のリサイクルを無料で行っているのに、石狩市ではなぜ行わないのか？  
お客様によく怒られる。

市で行っている小型電子・電気機器リサイクルは非常に優れた取り組みだと思う。リサイクル  
リサイクル社会の実現には、マテックのような優れたリサイクル技術を持つ会社が必要です。  
リサイクル企業の誘致に力を入れていただきたい。

コンビニではほとんどがお客様が持ち込んだごみですが、全チェーンごみ箱を置かないように  
できないか？

色々大変ですが、少しでも協力していきたいと思います。

リサイクル情報等があれば。

施設に居住している方のオムツは一般市民のごみ処理と同様に扱うことはできないのか？  
北広島は家庭ごみと同様にしているのだが。

生ゴミも残らないように少なくする。回しあいながら残さない。必要な物以外は買わない。

以前は燃やせるごみは自社で燃やして処理していたが、出来なくなり溜まる一方で困ってます。

一般市民同様、リサイクルできる物を回収してもらえたらいいと思う。使用済電球類をリサイク  
ルに出せず廃棄しなければいけないというのがもったいないし、エコじゃないと感じる。